第二十三回　苓洲会

13.09.22

1	みんみんと地に這う蝉の残暑かな
2	すざまじき残暑乗り越えし金魚逝く
3	東京に五輪知らせた残暑かな
4	陽の落ちて汗なほ止まぬ残暑かな
5	蝉の声残暑をつげているような
6	秋遠し高温続く残暑かな
7	空ゆれしお経届かぬ蝉の声
8	残暑も日めくりめくり忘れ去り
9	木の根方落ち蝉哀れ残暑にて
10	夕刊と一緒に来る残暑かな
11	窓開けて吹き込む風の残暑かな
12	残暑にセミとスズムシ鳴き別れ
13	白髪の手櫛に二本残暑かな
14	絵日傘の破れしままに処暑の街
15	墓参り親父お袋南無阿弥陀仏

第二十三回　芩洲会

13.09.22

16	山間の霧の谷間でキジの声
17	霧のなか見えぬ世界もまたたのし
18	朝霧の垂れ込めし沢歩く
19	雨去りて夜の大川霧低く
20	霧あとに東京五輪を祝う虹
21	片瀬山突然かゝる霧もある
22	荒川の薄霧払いカヌー往く
23	山火事に霧でもほしいヨセミテかな
24	静けさの霧の水面に漁師舟
25	霧深く我が行く道と重なりし
26	朝霧の川に竿さす釣り人や
27	振り返る藍の深さの朝顔や
28	朝顔の色とりどりやつるの先
29	路地裏の朝顔摘みて佃島
30	朝顔の大輪終り種を摘む

第二十三回　芩洲

2013.09.22

31	朝顔の短き命に美しさ
32	通り雨朝顔更に生き生きと
33	音静か朝顔絡む江戸風鈴
34	朝顔やゴーヤの陰で昼寝する
35	台風に耐えし稲穂の実りかな
36	台風や今と昔じゃコースがえ
37	台風に猛暑の一掃期待かな
38	葉を散らし台風ゆきて空は澄み
39	台風の雲間に消ゆる波濤かな
40	台風も国の進路も迷い道
41	海風や台風如く家も鳴り
42	台風は来るの来ないの待ち呆け
43	大風（ううかぜ）がベランダの鉢なぎ倒す
44	台風の季題の句会も飛んでゆき
45	台風の去った後にはぎんなんの実

第二十三回　苓洲会

13.09.22

46	収穫の喜び届く今年米
47	浮き袋竿に並んだ田舎(さと)の夏
48	この南瓜空にありし日長崎忌
49	庭先に古着新着の夏休み
50	新しき艫綱二百十日かな
51	初盆や灯りをつけて待つ家族
52	玉音を聞かされし日や干藷(こっぱ)食ふ
53	極暑かな顔拭(つま)く女房のピカソ展
54	憶えいて犬が尾を振る帰省かな
55	
56	
57	
58	
59	
60	